



# 第5回 市民と議会の意見交換会

## 《 報 告 書 》



開催日 平成29年5月18日(木)  
5月19日(金)  
5月20日(土)

1	はじめに . . . . .	1
2	議長あいさつ . . . . .	2
3	意見交換会の概要 . . . . .	3
4	参加者数とアンケートの結果 . . . . .	5
5	意見交換会でのご意見・ご質問 Q&A . . . . .	9
6	各会場の様子 . . . . .	21

東近江市議会

## 1. はじめに

東近江市議会の第5回目となる「市民と議会の意見交換会」に、多くの市民の皆さまにご参加いただき誠にありがとうございました。

東近江市議会では、開かれた議会をめざし、より多くの市民の皆さまのご意見を議会活動に反映させるため、意見交換会を開催いたしております。

意見交換会では、平成29年度の予算審議の内容や議会報告に対し、参加していただいた市民の皆さまから各地区の様々な課題、道路・河川、教育・社会福祉、農業・観光振興、地域の活性化・まちづくり、議会などについて、多くのご質問やご意見をいただきました。

また、意見交換会において実施したアンケートの結果では、意見交換会の開催について、「評価する」が79%と、約8割の方に高い評価をいただきました。また、議会報告会の説明については、「わかりやすかった」が82%、「わかりにくかった」が11%の結果でした。

意見交換会の継続を求める意見も多くいただき、アンケート結果等を踏まえ、今後の開催方法などについて検討し、より市民の皆さまに信頼され、開かれた議会となるよう取り組んでまいります。

今回の意見交換会の結果を報告書としてまとめましたので、市民の皆さまに報告させていただきます。会場でいただきましたご質問・ご意見について、各担当部と協議を行い、要旨として「Q&A形式」でとりまとめました。不十分な点も多々あると思いますが、ご理解を賜りたいと存じます。

なお、市民と議会の意見交換会に関するご意見・ご要望がございましたら、市議会事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平成29年8月

東近江市議会

## 2. 議長あいさつ

【開会にあたって 議長あいさつより】

「第5回市民と議会の意見交換会」を開催いたしましたところ、大変お忙しい中、また、それぞれの日を終えられお疲れのところ、たくさんの方にご参加いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃は、市議会に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、東近江市では、今年が地方創生総合戦略の3年目となり、地方創生関連業務の効果的な推進を重点的に進めています。

一方、市議会は、市民の皆さんから直接選挙で選ばれた議員による合議制の機関として、市民の皆さんの意思を市政に的確に反映させる使命がございます。

そこで、東近江市議会では、市民の皆さんに議会の情報をお届けし、市民の皆さんの多様なご意見をお聴きして、政策提案につなげてまいりたいと考え、平成25年度から「市民と議会の意見交換会」を開催しておりまして、今回で5回目を迎えました。

今日は、市や議会の取り組みに対して、皆さまの生の声を頂戴させていただきたいと思っております。

限られた時間ではございますが、有意義な意見交換会となりますよう、皆さま方のご協力をお願い申し上げ、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

### 3. 意見交換会の概要

#### 1. 開催日時と会場

開催日時	会場	担当
5月18日(木) 午後7時30分～	みすまの館(ひばり公園内)	1班
	やわらぎホール	2班
	蒲生コミュニティセンター	3班
5月19日(金) 午後7時30分～	永源寺コミュニティセンター	1班
	市辺コミュニティセンター	2班
	愛東コミュニティセンター	3班
5月20日(土) 午後7時30分～	南部コミュニティセンター	1班
	御園コミュニティセンター	2班
	五個荘コミュニティセンター	3班

#### 2. 班編成

1班 ・河並義一 ・横山榮吉 ・西澤善三 ・大洞共一 ・田郷 正  
・大橋保治 ・安田高玄 ・西崎 彰 ・戸嶋幸司

2班 ・野田清司 ・畑 博夫 ・杉田米男 ・岡崎嘉一  
・村田せつ子 ・竹内典子 ・市木 徹 ・和田喜藏

3班 ・寺村茂和 ・加藤正明 ・北浦義一 ・鈴木重史  
・周防清二 ・山中一志 ・西村純次 ・西澤由男

### 3.内 容

(1) 開会

(2) あいさつ (議長、副議長 または 議会運営委員会委員長)

(3) 議会報告と議会説明

- ・パワーポイントを利用し、議会の現状や平成29年度予算の内容、各地区の課題などについて説明を行いました。

①議会の現状について

…議会の編成や委員会の説明、議員の活動状況などについて説明しました。

②平成29年度予算について

…平成29年度の予算概要を説明しました。

③各常任委員会からの報告

…それぞれの委員会で審議した主な内容について報告しました。

(4) 意見交換会

参加された皆さまからのご意見・ご質問等をお聴きするとともに、議会へのご意見については、会場でお答えさせていただきました。

市や県に対するご要望や、アンケートにご記入いただいたご意見につきましては、報告書を作成し、コミュニティセンター、図書館等に配置します。また、市ホームページでも公開します。

(5) 閉会

## 4. 参加者数とアンケートの結果

市内9会場で335人のご参加をいただきました。(昨年度は296人)

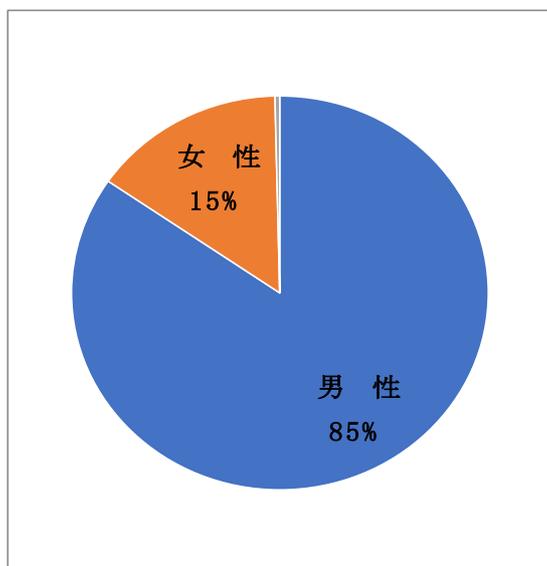
開催日	5月18日			5月19日			5月20日			
会場名	みすまの館	やわらぎホール	蒲生コミセン	永源寺コミセン	市辺コミセン	愛東コミセン	南部コミセン	御園コミセン	五個荘コミセン	計
参加人数	37	46	54	43	31	35	28	31	30	335人
アンケート回答数	29	36	34	31	28	33	20	25	30	266人
回収率	78.4%	78.3%	63.0%	72.1%	90.3%	94.3%	71.4%	80.6%	100%	79.4%

### ○参加者区分

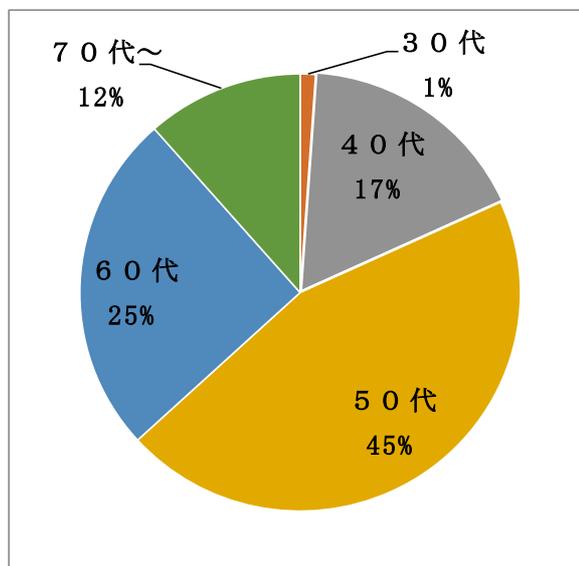
参加者の85%を「男性」が占めました。年代別では、50代以上が合わせて82%になっています。

一方で、昨年に引き続き「女性」や「20、30代」の参加率が下がりました。開催時間や周知方法を改善する必要があります。

### 男女別



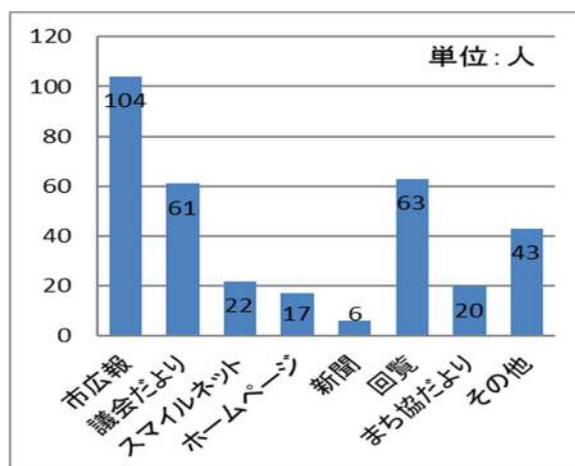
### 年代別



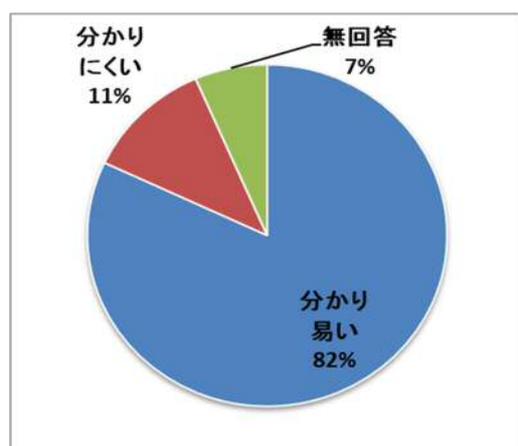
## ○開催情報は何から得ましたか(複数回答あり)

全体のおよそ3分の1の方が「市広報」を見ての参加という結果であり、回覧や議会だよりなど、紙面での広報が有効であることがうかがえます。

また、スマイルネットや市ホームページを通して知った方が昨年の3倍以上であったことも大きな変化です。



## ○パワーポイントでの説明は



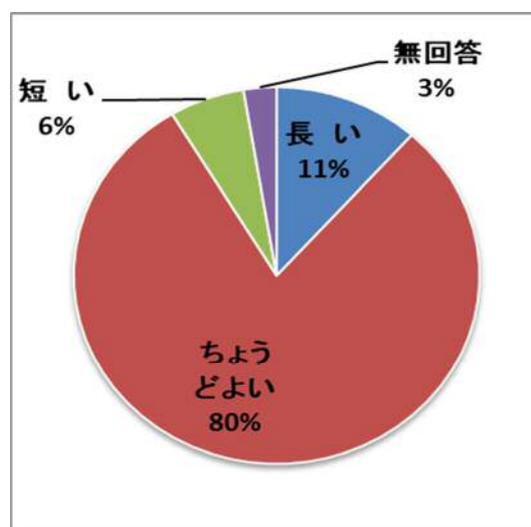
回を重ねるごとに改善を重ねた結果、わかりやすいものが提供できたことを嬉しく思います。

しかしながら、『画面と配布資料が同じで工夫が足りない』『数字等、細かな説明が必要』などのご意見もあり、パワーポイントを利用しての説明に対し、さらなる改善が必要であることが確認できました。

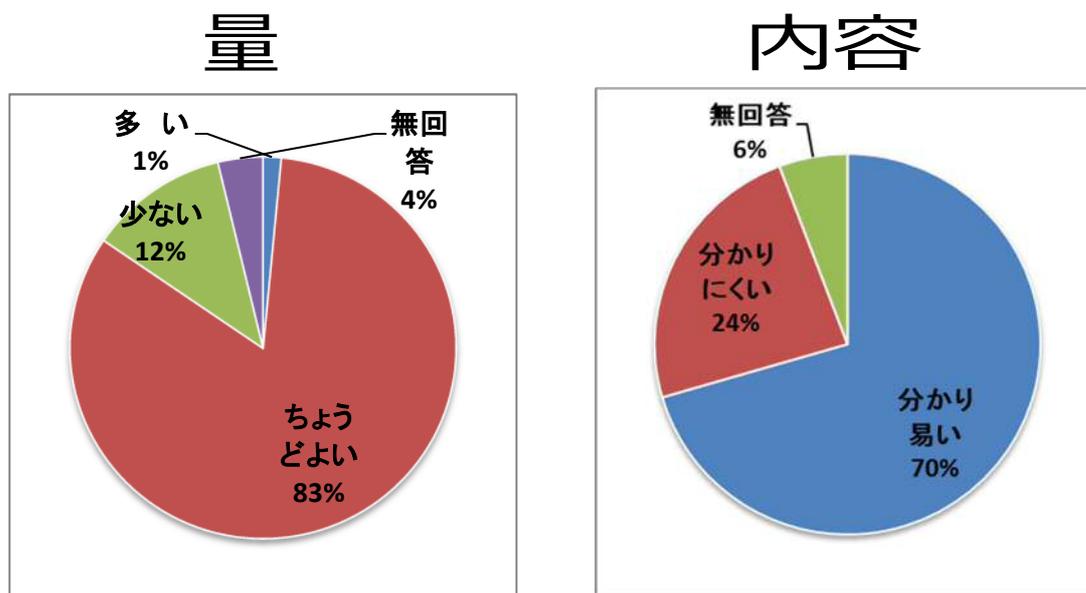
## ○説明時間は

約30分の説明と1時間の質疑応答という形での開催に対し、多くの方から「ちょうどいい」との回答がありました。

『もう少し柔らかい口調で説明してほしい』や『説明はほどほどに、質問に対して種々回答をする方法でやればどうか』などの要望もありましたので、次回に反映させていきたいと思えます。



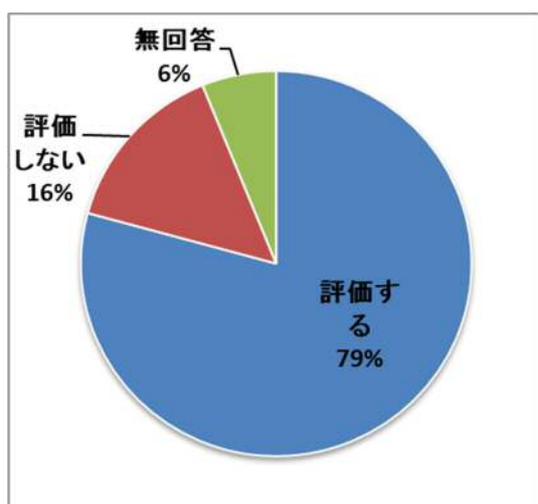
## ○配布資料の量・内容は



量について「ちょうどよい」、内容について「分かり易い」とのご意見を多く頂きました。

しかし、内容について「分かりにくい」と答えた方の中には『予算額について、口頭説明だけでなく資料への記載を』とのご意見を多くいただきました。

## ○意見交換会の評価は



5回目を迎え、「議会の流れが少しわかった。傍聴も考えたい」「良い機会を与えていただき感謝する」などの評価をいただいた一方、「参加者が少ないことをどう受け止めているのか」「自治会単位など、もっと意見交換の場を増やすべき」などの声も多くいただきました。

今後は、このアンケート結果をもとに、さらなる向上を目指していきたいと思います。

## その他、アンケートに書かれた意見・要望など(一部抜粋)

- 5年間の積み重ねがあるので、年次比較できる資料だとなお良かった。
- 市民の関心を上げてほしい。無関心ではよいまちにならない。
- 意見交換会を年数回実施してほしい。
- 女性や若者が参加できる工夫をお願いします。
- 市民が参加しやすいような工夫が必要では。関心のありそうな話題に絞るとか、シンポジウムのような形式はいかがか？
- すべてパーフェクトではないので、残った課題も出すべき。
- 多くの意見要望があって、良い機会を住民に与えていただきありがとうございました。
- 年間を通して各地区に来ていただければと思います。市民の要望や意見はもっとたくさんあると思いますよ。少人数でいいのでぜひ来てください。
- 議会の仕組みがわかり、参考になりました。
- 議員さんは種々の問題を抱えて大変だと思います。「絶えず市民の声を議会に反映させている。」と報告されていますが、出身地区以外の地区へも出向いて声を聴いてほしい。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

## ■過去5年間の参加者数推移

平成25年度(第1回)		平成26年度(第2回)		平成27年度(第3回)		平成28年度(第4回)		平成29年度(第5回)						
会場	人数	会場	人数	会場	人数	会場	人数	会場	人数					
八日市	平田コミセン	19	八日市	市辺コミセン	17	八日市	中野コミセン	28	八日市	平田コミセン	25	八日市	市辺コミセン	31
	玉緒コミセン	25		御園コミセン	19		建部コミセン	29		玉緒コミセン	25		御園コミセン	31
	八日市コミセン	49		南部コミセン	31		市役所東庁舎	28		八日市コミセン	25		南部コミセン	28
永源寺コミセン	38	永源寺コミセン	26	永源寺コミセン	42	永源寺コミセン	42	永源寺コミセン	43					
五個荘コミセン	44	五個荘コミセン	30	文化学習センター	32	五個荘コミセン	39	五個荘コミセン	30					
愛東コミセン	41	愛東コミセン	36	愛東コミセン	34	愛東コミセン	36	愛東コミセン	35					
みすまの館	25	みすまの館	18	みすまの館	37	みすまの館	27	みすまの館	37					
やわらぎホール	83	やわらぎホール	58	能登川図書館	48	やわらぎホール	38	やわらぎホール	46					
蒲生コミセン	49	蒲生コミセン	42	蒲生コミセン	45	蒲生コミセン	39	蒲生コミセン	54					
合計	373	合計	277	合計	323	合計	296	合計	335					

## 5. 意見交換会でのご意見・ご質問 Q & A

9会場で（アンケート含む）いただきましたご意見・ご質問の中から抽出した事項について、回答を報告いたします。（要旨をまとめ、補足説明を加えていますのでご了承ください。）

### [道路・河川・交通・上下水道関係]

**Q** 今後膨大になってくる道路、橋梁、上下水道施設の維持管理費用の確保はどうするのか。

**A** 老朽化対策に係る予算不足による安全性への支障が発生しないよう、社会インフラの適切な維持管理を求めてまいります。また、国や県に対して財源措置を強く要望してまいります。

**Q** 歩道や生活道路の雪寒対策はどのように考えているのか。

**A** 今年の豪雪による混乱を受けて、市の雪寒対策について確認しましたところ、市の雪寒対策計画では、幹線道路を中心に除雪路線を定めており、全ての道路の除雪対応はできないため、歩道や生活道路の除雪については、自治会をはじめ地域の皆さまに御協力をお願いしているとのことです。

自治会が購入される除雪機に対する補助制度も設けられておりますので、御協力をよろしく申し上げます。

**Q** 蛇砂川新川は、いつ愛知川に接続されるのか。

**A** 水害対策の上からも喫緊の課題であると認識しておりますが、整備完了時期は明確になっていません。市議会においても「河川整備推進特別委員会」を設置しており、整備促進について、国や県に引き続き強く要望してまいります。

**Q** ちょこっとバス（タクシー）の乗り継ぎ設定を改善できないか。

**A** 平成29年3月に策定された東近江市コミュニティバス第4次再編計画において、「誰もが利用しやすい環境整備」、「鉄道や路線バスとの連携強化」等が基本方針に定められ、この4月から乗り継ぎ改善が図られていますが、今後におきましても利便性の向上に向け、常に乗り継ぎ改善を求めてまいります。

**Q** 名神名阪連絡道路整備等の早期実現と公共交通機関と連動した琵琶湖から鈴鹿までの観光ルートの設定など、観光戦略を核とした観光行政を推進できないか。

**A** 道路整備については、東近江市を東西に走る道路がないということで、一刻も早く実現するよう議会としても引き続き要望してまいります。

公共交通機関と連動した観光行政の推進については、観光ルートを考慮した公共交通ネットワークの検討や観光客に分かりやすいサイン・案内板の設置などの取り組みを求めてまいります。

## [医療・社会福祉関係]

**Q** 高齢者の安心につながる介護制度や年金制度の整備を進められているのか。

**A** 誰もが可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう東近江市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき事業を進めております。

**Q** 手話言語を中心とする条例制定に向けた取り組みは進んでいるのか。

**A** 手話言語の法制化は、国または県が制定されるべきであり、市は、特化した条例制定を目的とするのではなく、課題を解決するための施策の充実を図りたいとのことです。議会としても、国、県へ法制化を求めるとともに、誰もが手話で日常会話ができる社会の実現に向けて取り組んでまいります。

**Q** エスコートゾーン（視覚障害者が横断歩道から離れることなく道路を横断できるように配慮された設備）の整備はできているのか。

**A** 現在、市内にエスコートゾーンの整備箇所はありませんが、今後しっかり整備していくように要望してまいります。

**Q** 国民健康保険料が高いのではないかと。国民健康保険制度の改正はどうなるのか。

**A** 東近江市の国保料は、県下13市6町の中では低いほうになります。国保料の算定は、加入されている方の所得や家族構成で料金が変わりますので、一概に高い安いは判断できません。

なお、国民健康保険制度は、平成30年4月から県で財政運営を主に統一されます。現在は、「滋賀県国民健康保険運営方針」が策定中で、この中で国保料も将来統一する方向で協議されています。

## [教育・子ども子育て関係]

**Q** 学力向上に向けた対策や学校の魅力づくりはどのように進めているのか。

**A** 各学校では、教育三方よしプラン（東近江市教育振興基本計画）に基づき、地域住民の協力による郷土学習・体験的学習の実施や、授業の工夫改善を進め、少人数学級編制や少人数指導等によるきめ細かな指導を展開し、確かな学びができる教育の推進をされています。また、教育研究所を設置し、学力の向上を図るため、教職員の能力、資質の向上を含め、知識・技能を活用する力の育成に努められているところです。議会としても、先進事例を視察研修し、効果的な取り組みを提言してまいります。

**Q** 地域の実情に合った学童保育制度や学童保育の指導員の働き方も考慮した市独自の制度を検討できないのか。

**A** 子ども子育て支援法制定により、学童保育の社会的位置付けが明確化されました。ようやく国の制度が動き出したところであり、制度と現場の間にある課題については、改善されるよう要望してまいります。

NPO法人化についても、指導員の安定した雇用実現に向けより良い体制になるよう、現場の声をしっかりと聴き対応してまいります。

**Q** 保育園、幼稚園の集約が進められているが、地区毎に整備するのが理想ではないか。

**A** 施設を集約したため通園が遠くなった方もおられますが、ある程度の規模で運営する必要がありご理解をお願いします。

## [農林水産業関係]

**Q** より効果的な獣害対策はないのか。広葉樹等の緩衝地帯設置などを広域で実施できないか。

**A** 市全域で地元猟友会の御協力により、銃器やわなを利用した有害鳥獣の捕獲活動を実施しています。また、国の補助事業を活用し、ハード面では、ニホンジカ、イノシシ用の侵入防止柵やニホンザル用の電気柵の整備、ソフト面では、捕獲実施隊の確保と育成のため、捕獲免許取得希望者に対する講習料の一部補助や、ハクビシンやアライグマ等の外来獣の捕獲オリの貸付など、農業被害や生活被害の軽減対策を実施しています。

さらには、人と獣との棲み分けを図る緩衝帯は有効な対策であることから、国や県の補助事業を活用した緩衝帯整備も実施しています。

これらの対策を広域的に実施できるよう努めてまいります。

## [地域の活性化・まちづくり関係]

**Q** 中心市街地の活性化は、能登川駅を中心に進めるべきではないか。

**A** 中心市街地については、商業集積、官庁関係機関、人口などの集積や、交通結節点機能など国の採択基準に合致する八日市駅から市役所にかけての間を、中心市街地と位置づけを行っています。

能登川駅については、本市唯一のJR駅であり、一定の商業集積などもみられることから、能登川駅周辺を副次拠点地域と位置付けるとともに、各支所周辺は地域拠点と位置付けし、それぞれの地域の特徴を生かしたまちづくりを行っていきます。

**Q** 地域の活性化対策、事業推進、コミュニティセンターの配置など地域間格差があるのではないか。

**A** 市内14地区に設置していますコミュニティセンターは、現在すべての地区でまちづくり協議会に指定管理をお願いし、地域のまちづくり拠点として活動をされています。東近江市誕生以前からのまちづくりという歴史的経過や地域の御意見を聞く中で、現在の14地区をエリアとしてまちづくり協議会を設立いただき、地域の資源を生かした協働のまちづくりを推進いただいているところです。

旧町の支所付近は身近な都市機能（行政サービス、福祉、近隣商業等）を集約し、各地域の特性を生かしたまちづくりを推進することでバランスのある市域の発展を目指します。

**Q** 蒲生スマートインターは、1日約3,900台、年間約140万台が利用されている。インター周辺の整備計画はどのように考えているのか。

**A** インターチェンジ周辺は農業振興地域となっており、その除外や市街化区域への編入を検討しましたが、同地区は圃場整備事業が行われた優良農地であることから難しい状況であります。市の総合戦略に位置付けている農産物の高付加価値化や農商工連携などを支援してまいります。

**Q** 東近江市版GDPを活かした地域活性化対策について。

**A** 鈴鹿から琵琶湖までの広大な市域は、県内最大の穀倉地帯であるとともに、交通の利便性を生かした内陸型工業地域でもあることから、商業も含めてバランスのとれた都市として活性化する必要があります。

**Q** 合併で新しく誕生した東近江市の名をどのようにPRしているのですか。  
(今まで以上に全国にPRしてほしい。)

**A** 都市で開催される物産展等におけるPR活動を展開する一方、「びわ湖東近江SEA TO SUMMIT (シートゥーサミット)」をはじめとする地域の資産を生かしたイベント開催等の取組が進められています。

## [その他]

**Q** 住宅リフォーム助成制度をもっと充実できないか。

**A** 平成26年度～28年度に実施してきた住宅リフォーム促進事業助成金または定住移住推進事業補助金は、平成29年度から新たに「東近江市市民定住住宅改修事業助成金」として実施しています。平成29年度はご要望が多く、年度早々に予算枠を超え抽選している状況ですが、今後も予算の範囲内で対応する予定です。

**Q** 定住・移住住まいの支援（東近江市定住移住推進補助金）の新築住宅取得補助は、東近江市に住んでいる人が受けられるのか、他府県から転入した人に補助するのか。

**A** 定住移住推進補助金は、市内の定住者および市外からの移住者を増やし地域活性化を図ることを目的とする補助制度で、東近江市に住んでおられる方も東近江市に転入された方も対象になる事業があります。

**Q** 防災情報告知放送の聴覚障害者対応として文字表示だけでなくランプの点灯や振動等の機能を付加されているか。

**A** 聴覚障害者の方への対応としては、告知放送の内容が文字で表示できるシステムを整備されますが、その他の機能については、検討してまいります。

**Q** 防犯カメラの設置に対する助成制度はないのか。

**A** 防犯カメラを設置することは、「人の目」が行き届かないところの犯罪の抑止に有効である一方、防犯カメラの設置により被写体となる不特定多数の個人のプライバシーを侵害する恐れがあるということから、東近江市では、スクールガードをはじめとする地域の皆様のご協力により、「人の目」による見守り活動の推進と地域の防犯意識の高揚を基本に犯罪の起きにくいまちづくりを推進しているとのことです。

市議会でも、防犯カメラの有効性と課題について研究してまいります。

## [議会関係]

**Q** 議会は、議員定数についてどのように考えているのか。

**A** 現行の25人が、必ずしも正しいとは考えていません。議会制民主主義を守り、様々なご意見をお聴きするため、必要な議員数については、常に考える必要があります。議会では、議員定数等検討会を設置し、定数削減の議論に偏らず、議員報酬や議会運営のあり方、さらには議員の資質向上に向けた取り組みについて検討を重ねています。

**Q** 議会のチェック機能は果たされているのか。合併後10年間の推移で市債残高が増え、基金が減少している。市政に対するきびしいチェック機能が必要ではないか。

**A** 適正な市政運営が行われているか監視し、評価することは、二元代表制の一翼を担う市議会の活動原則の一つであります。本会議、常任委員会に限らず、委員会協議会や日々の議会活動を通して、しっかりチェック機能を果たすよう心掛けています。

**Q** 広報、公聴の充実（臨時会の中継放送、議会だよりの掲載内容）

**A** 議会の映像配信の充実を検討し、より開かれた議会を目指してまいります。  
議会だよりは、平成28年度に紙面構成を刷新して、読みやすく、興味を持っていただける紙面作成に努めているところです。

**Q** 市議会の傍聴について。

**A** 市議会の本会議をはじめ、常任委員会、特別委員会は、だれでもその様子を傍聴することができます。皆さんが選んだ市議会議員の活動や、市政の方針などを身近に知るためにも実際に見聞してください。傍聴を希望される場合は、議会事務局（市役所3階）にお申し込みください。なお、本会議は、東近江ケーブルテレビで中継されるほか、市ホームページの市議会映像配信でご覧いただくこともできます。

**Q** 政務活動費のチェック機能。

**A** 政務活動費は、議員一人当たり月額2万円です。原則、会派に交付され、会派の代表と会計が収支内容をチェックし収支報告書を作成して市に提出します。収支報告書の内容は、領収書等証拠書類とともに再度議会事務局がチェックし、議長が最終確認をします。政務活動費の収支報告書は、市ホームページに掲載しています。

## 6. 各会場の様子

### 1 班

期日	会 場	参加人数
18日	みすまの館	37
19日	永源寺コミセン	43
20日	南部コミセン	28



みすまの館

### 2 班

期日	会 場	参加人数
18日	やわらぎホール	46
19日	市辺コミセン	31
20日	御園コミセン	31



やわらぎホール

### 3 班

期日	会 場	参加人数
18日	蒲生コミセン	54
19日	愛東コミセン	35
20日	五個荘コミセン	30



蒲生コミュニティセンター



永源寺コミュニティセンター



南部コミュニティセンター



市辺コミュニティセンター



御園コミュニティセンター



愛東コミュニティセンター



五個荘コミュニティセンター

編 集 : 市民と議会の意見交換会運営委員会

委員長 : 鈴木重史      副委員長 : 市木 徹  
委 員 : 野田清司      田郷 正      山中一志  
         和田喜藏      西澤由男      戸嶋幸司